

令和7年度 筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群 人文学学位プログラ
文学サブプログラム 博士後期課程入学試験問題 専門科目（表紙を含めた全10枚のうちの2枚目）

受験番号	
------	--

問題Ⅰ

大問1 次の文章は、森鷗外による評論「文芸の主義」（『東洋』明治44年／1911年）の全文である。これを読んで、後の問いに日本語で答えなさい。

（出題の都合上、一部表記を改めている）

問1 森鷗外の「主義」に対する考えについて、わかりやすく説明しなさい。

〔解答欄〕

問2 森鷗外の「個人主義」に対する考えについて、わかりやすく説明しなさい。

〔解答欄〕

問3 この文章からうかがえる、森鷗外の芸術観を説明しなさい。

〔解答欄〕

大問2 以下の文学史・文学研究関連の項目について、簡潔に説明しなさい。

1) 幸田露伴

〔解答欄〕

2) 新しき村

〔解答欄〕

3) 中間小説

〔解答欄〕

大問3 日本近現代文学における「文体」をテーマに、具体例を挙げて、自由に論じなさい。

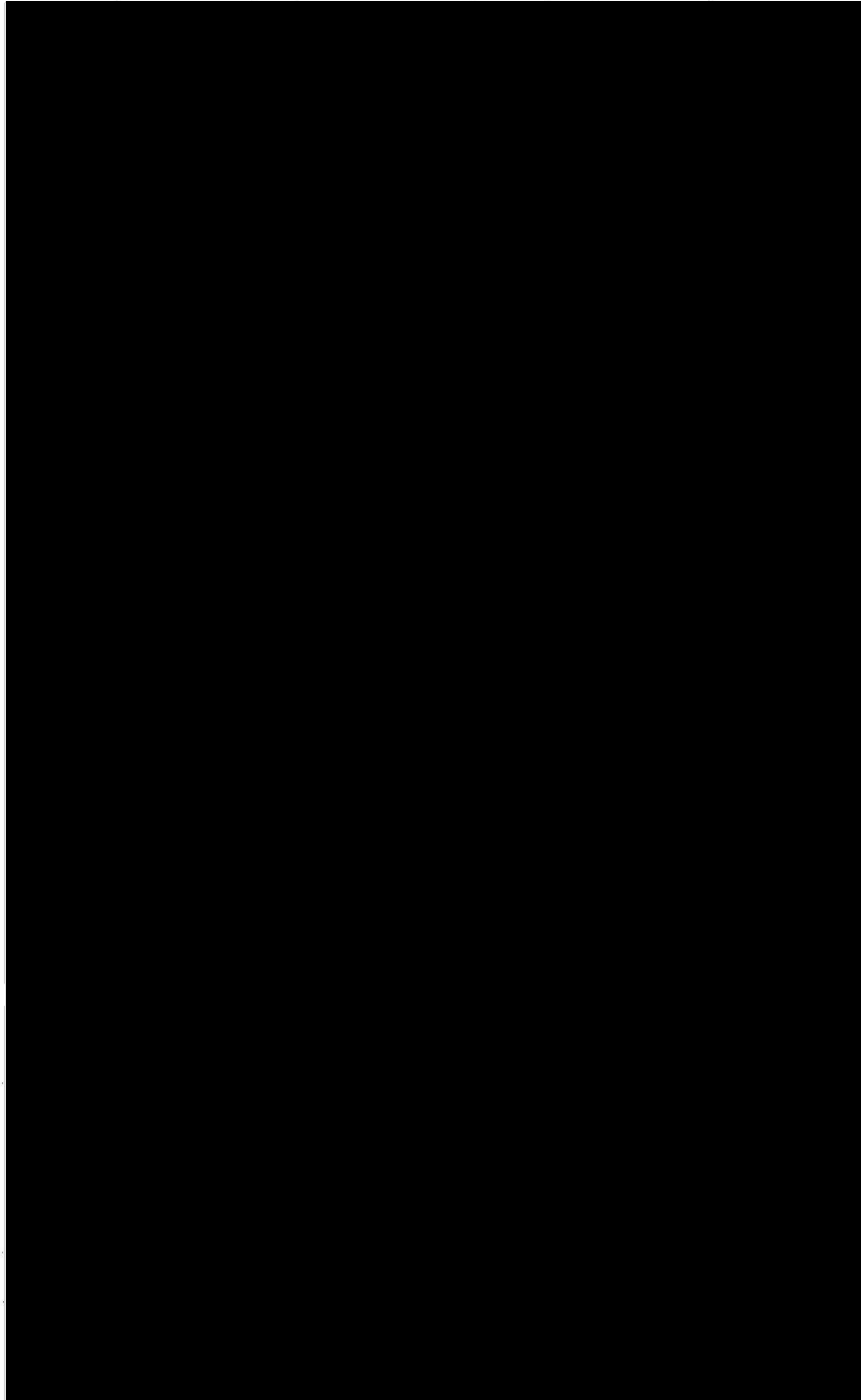
〔解答欄〕

出題意図

・日本近代文学分野のテキストを読解し、正しく論点を把握する能力をはかる。また、日本近代文学研究に必須の知識を持っているかを確認する。

問題Ⅱ

次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。



Fredric Jameson, *Postmodernism, or, The Cultural Logic of Late Capitalism*,
Duke University Press, 1991, pp.382-383.

問1. 上の文章を、400字程度の日本語でまとめなさい。

問2. 下線部の主張について、本文全体の主張と関連させつつ、あなた自身の研究テーマと関係づけて論評しなさい。字数制限なし。

【解答欄】

問1（解答例）

終末的な想像力は、核戦争への恐怖から地球温暖化や環境汚染へと対象を変えつつ存続しているが、これらの物語が真に「未来」を見据えたものかは疑問である。例えば、文明崩壊後の野蛮な世界を描く映画『ロード・ウォーリアー』を考えると、こうした作品が単なる現代社会の混乱に対する風刺に過ぎない可能性がある。

さらにフロイトの精神分析を援用すれば、悪夢的な物語の表面的な内容は、しばしば潜在的な願望を隠蔽していると分析できる。例えば、人類の大半が消滅した後の世界を描くSF作品では、生き残った人々が過密社会から解放され、物資を自由に手に入れながら理想的な共同体生活を送る様子が描かれる。これは一見ディストピア的な恐怖を装ってはいるが、実際には競争のない安息を求めるエゴイスティックな「ユートピア的願望」の充足に他ならない。私たちは、こうした悲劇的な物語の背後に潜む、無意識下の自己満足的な欲望を警戒深く注視すべきである。（405文字）

問2（出題意図）

終末的な想像力とユートピアへの願望に関する批評テキストを読解し、正しく論点を把握する能力をはかる。また、受験者が自身の研究計画を具体的に持ち、テキストの論点を適切に参照しながら、自身の研究テーマの意義を適切に説明することができるかどうかを確認する。